

研究教育業績（過去 5 年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Suzuki M., Cao K., Kato S., Mizutani N., Tanaka K., Arima C., Tai M.C., Nakatani N., Yanagisawa K., Takeuchi T., Shi H., Mizutani Y., Niimi A., Taniguchi T., Fukui T., Yokoi K., Wakahara K., Hasegawa Y., Mizutani Y., Iwaki S., Fujii S., Satou A., Tamiya-Koizumi K., Murate T., Kyogashima M., Tomida S., Takahashi T., CERS6 required for cell migration and metastasis in lung cancer. *J Cell Mol Med.* **24**, 1949-11959 (2020).
- 2) Kudo A., Ishikawa T., Nakamura H., Yamada K., Nakahara S., Taguchi I., Inoue T., Sako K., Kyogashima M., Serum sulfatide levels across atheromatous plaques are significantly affected by plaque injury caused by percutaneous coronary intervention. *SN Compr. Clin. Med.* **2**, 893-898 (2020).
- 3) Lu Y., Harada M., Kamijo Y., Nakajima T., Tanaka N., Sugiyama E., Kyogashima M., Gonzalez FJ., Aoyama T., Peroxisome proliferator-activated receptor α attenuates high-cholesterol diet-induced toxicity and pro-thrombotic effects in mice, *Arch Toxicol*, **93**, 149-161 (2019).
- 4) Noda A., Kato M., Miyazaki S., Kyogashima M., Separation of glycosphingolipids with titanium dioxide, *Glycoconj J*, **35**, 493-498 (2018).
- 5) Aoyama Y., Sobue S., Mizutani N., Inoue C., Kawamoto Y., Nishizawa Y., Ichihara M., Kyogashima M., Suzuki M., Nozawa Y., Murate T., Modulation of the sphingolipid rheostat is involved in paclitaxel resistance of the human prostate cancer cell line PC3-PR, *Biochem Biophys Res Commun*, **486**, 551-557 (2017).
- 6) Mizutani N., Omori Y., Kawamoto Y., Sobue S., Ichihara M., Suzuki M., Kyogashima M., Nakamura M., Tamiya-Koizumi K., Nozawa Y., Murate T., Resveratrol-induced transcriptional up-regulation of ASMAse (SMPD1) of human leukemia and cancer cells, *Biochem Biophys Res Commun*, **470**, 851-856 (2016).

2. 主な学会発表

[国際学会]

- 1) Miyazaki S., Yui Y., Ota S., Osaka K., Kyogashima M., Sato S., Selective extraction of phospholipids from biological sample with metal oxide chromatography for mass spectrometry-based analysis, 64th American Society for Mass Spectrometry, San Antonio, USA, June (2016).

[国内学会]

- 1) 加藤美樹 野田彩佳、宮崎将太、京ヶ島守、チタニア（酸化チタン TiO₂）による糖脂質分取の試みーその 2ー, 第 63 回日本薬学会関東支部大会, 9 月, 白金 (2019).
- 2) 中嶋岳郎, 京ヶ島守, 田中直樹, 上條祐司, 第 92 回日本生化学大会, 9 月, 横浜 (2019).

- 3) 京ヶ島守, 田口功, スルファチドは、粥状硬化病変に存在し急性冠動脈症候群の増悪因子となりうる, 第 13 回スフィンゴセラピー研究会, 12 月, 砺波 (2018).
- 4) 加納珠依, 塚本圭佑, 松田佳和, 田口功, 京ヶ島守, 経皮的冠動脈形成術は冠動脈内スルファチド濃度に影響を及ぼす, 第 62 回日本薬学会関東支部大会, 9 月, 中野 (2018).
- 5) 野田彩佳, 岩田堂海, 鹿子生啓介, 黒沢博基, 宮崎将太, 京ヶ島守, チタニア (酸化チタン TiO_2) による糖脂質分取の試み, 第 62 回日本薬学会関東支部大会, 9 月, 中野 (2018).
- 6) 京ヶ島守, 上條祐司, 中嶋岳郎, 青山俊文, 慢性腎臓病の透析患者における血清スルファチド値の経時変化, 第 12 回スフィンゴセラピー研究会, 9 月, 能登 (2017)
- 7) 鈴木元, 村手隆, 京ヶ島守, 古水雄志, 松本陽子, 高橋隆, CERS6 によるスフィンゴ脂質プロファイル制御と肺がん転移, 第 76 回日本癌学会学術総会, 9 月, 横浜 (2017)
- 8) 鈴木元, 村手隆, 京ヶ島守, 古水雄志, 松本陽子, 上岡龍一, 高橋隆, CERS6 および癌特有のスフィンゴ脂質代謝ホメオスタシスを利用した肺がん分子標的治療, 第 75 回日本癌学会学術総会, 10 月, 横浜 (2016).
- 9) 滝瀬敦, 黒崎一樹, 藤澤啓, 田口功, 京ヶ島守, 経皮的冠動脈形成術が冠動脈内スルファチド濃度に及ぼす影響, 第 60 回日本薬学会関東支部大会, 9 月, 東京 (2016).

3. その他特筆すべき研究業績

- 1) 京ヶ島守 (代表), 富士化学株式会社共同研究, ケイ酸ナトリウム水溶液の構造解明, 264 千円, (2020).
- 2) 京ヶ島守 (代表), 富士化学株式会社共同研究, ケイ酸ナトリウム水溶液の構造解明, 264 千円, (2019).
- 3) 京ヶ島守 (代表), 富士化学株式会社共同研究, ケイ酸ナトリウム水溶液の構造解明, 220 千円, (2018).
- 4) 京ヶ島守 (分担), 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 C, 冠動脈粥状腫不安定化と PCI 後再狭窄における miRNA およびスルファチドの検討, 104 千円, (総額 312 千円) (2017).
- 5) 京ヶ島守 (代表), 富士化学株式会社共同研究, ケイ酸ナトリウム水溶液の構造解明, 165 千円, (2017).
- 6) 京ヶ島守 (分担), 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 C, 冠動脈粥状腫不安定化と PCI 後再狭窄における miRNA およびスルファチドの検討, 104 千円, (総額 312 千円) (2016)

II. 教育業績

1. 担当授業科目

(2020 年度)

生物特論 6 学年 2 コマ (6 年制)

薬学総合演習 IB 4 学年 1 コマ (6 年制)

薬学総合演習 II 6 学年 1 コマ (6 年制)

卒業研究 6 学年 (6 年制)

薬学原書講読 II 4 学年 10 コマ (6 年制)

病態と治療Ⅳ 3 学年 15 コマ (4 年制)
生活習慣と病気 3 学年 15 コマ (4 年制)
微生物と生体防御 2 学年 15 コマ (4 年制))

(2019 年度)

薬学総合演習ⅠA 4 学年 1 コマ (6 年制)
薬学総合演習Ⅱ 6 学年 2 コマ (6 年制)
卒業研究 6 学年 (6 年制)
薬学原書講読Ⅱ 4 学年 10 コマ (6 年制)
病態と治療Ⅳ 3 学年 15 コマ (4 年制)
生活習慣と病気 3 学年 15 コマ (4 年制)
微生物と生体防御 2 学年 15 コマ (4 年制))

(2018 年度)

生物化学実習 2 学年 (6 年制) 9 コマ
薬学総合演習ⅠA 4 学年 3 コマ (6 年制)
薬学総合演習Ⅱ 6 学年 3 コマ (6 年制)
卒業研究 6 学年 (6 年制)
薬学原書講読Ⅱ 4 学年 10 コマ (6 年制)
病態と治療Ⅳ 3 学年 15 コマ (4 年制)
生活習慣と病気 3 学年 15 コマ (4 年制)
微生物と生体防御 2 学年 15 コマ (4 年制)
医薬学英語 3 学年 3 コマ (4 年制)

(2017 年度)

臨床医学概論 4 学年 (6 年制)
生物化学実習 2 学年 (6 年制) 9 コマ
薬学総合演習ⅠA 4 学年 2 コマ (6 年制)
薬学総合演習Ⅱ 6 学年 2 コマ (6 年制)
卒業研究 6 学年 (6 年制)
病態と治療Ⅳ 3 学年 15 コマ (4 年制)
生活習慣と病気 3 学年 15 コマ (4 年制)
微生物と生体防御 2 学年 15 コマ (4 年制))
医薬学英語 3 学年 3 コマ (4 年制)

(2016 年度)

臨床医学概論 4 学年 (6 年制)
薬学総合演習ⅠA 4 学年 2 コマ (6 年制)
薬学総合演習Ⅱ 6 学年 1 コマ (6 年制)
病態と治療Ⅳ 3 学年 15 コマ (4 年制)
生活習慣と病気 3 学年 15 コマ (4 年制)

微生物と生体防御 2 学年 15 コマ (4 年制))

医薬学英語 3 学年 3 コマ (4 年制)

2. その他特筆すべき教育業績

なし